



©2005 石塚真一/小学館

第 269 号(令和4年(2022 年)7月 14 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

本誌「山岳通信」の夏山シーズン遭難事例を分析した対策記事
「危険箇所じゃないのに転倒&重傷も!? データで見る夏山登山に潜むリスク」
が YAMAHACK に掲載されました <https://yamahack.com/5383>

焼岳の噴火警戒レベル「1」への引き下げに伴い、火口周辺及び登山口への立入規制が
解除されました <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/7/79252.html>

御嶽山の噴火警戒レベルが 2 から 1 (活火山であることに留意) に引き下げられました
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/312.html

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

を確認し万全の準備で入山を!

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

7月2週、県内では死亡遭難を含む7件の遭難が発生し、うち4件は北アルプスで発生しました。
槍ヶ岳で発生した遭難については、残雪上でスリップをしたものです。

県内各地では、気温が35度の猛暑日となりましたが、標高の高い北アルプス等では、いまだに沢筋に雪が残っています。「この時期に雪!？」なんて思うかもしれませんが、沢筋や谷筋は日陰になっている箇所が多く、硬く溶けにくくなっています。

登山計画を立てる際には、携行する装備品も大切ですが、「行き先のルートに雪が残っていないか」「迷いやすい分岐点はないか」などを事前に確認をしましょう。

先週末から本格的な夏山シーズンとなりましたが、非常に暑い日が続いています。夏山では、熱中症や暑さによる持病の悪化、体力不足による疲労遭難が目立ちます。喉が渇く前・空腹を感じる前に、こまめに水分・エネルギー補給をし、熱中症予防などに努めましょう。また、天候が安定している場合も、午後になると突発的な雷雨になることもあるため、余裕を持った行動を心掛け、目的地には、遅くとも午後3時には到着できる計画を立てましょう。

発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
7月5日	北アルプス 涸沢	45	男	転倒	負傷	4人パーティで涸沢から横尾に向けて下山中、石の上で滑り、転倒、負傷
<p>5日、4人パーティで北アルプス奥穂高岳から上高地方面に向かって下山中の男性(45歳)が、石の上で滑って転倒し負傷する山岳遭難が発生し、松本警察署山岳遭難救助隊員及び北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して、救助しました。</p>						
7月7日	北アルプス 槍ヶ岳	71	男	転倒	負傷	単独 で槍ヶ岳に登山中、雪渓でスリップし、転倒、負傷
<p>7日、単独で槍ヶ岳から槍ヶ岳に向けて登山中の男性(71歳)が、雪渓でスリップして転倒し負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						
7月7日	北アルプス 槍ヶ岳	41	男	不明	死亡	単独 で登山中、何らかの原因により行動不能(上記遭難者を救助活動中の県警ヘリが発見)
7月9日	北アルプス 白馬乗鞍岳	71	男	疲労	無事救出	2人パーティで白馬乗鞍岳に登山中、疲労により、行動不能
<p>9日、2人パーティで、北アルプス白馬乗鞍岳に入山し、天狗原付近を登山中の男性(71歳)が、滑落して行動不能となる山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して男性を救助しました。</p>						
7月9日	東御市 湯ノ丸山	61	男	発病	無事救出	3人パーティで湯ノ丸山に登山中、発病により、行動不能
<p>9日、3人パーティで、湯ノ丸山に入山し、山頂に向けて登山中の男性(61歳)が、体調不良により行動不能となる山岳遭難が発生し、消防署員が出動して男性を救助しました。</p>						

7月9日	ハケ岳連峰 赤岳	45	女	発病	無事救出	2人パーティで入山中、赤岳鉱泉付近で発病により、行動不能
9日、2人パーティでハケ岳赤岳に入山した女性(45歳)が、体調不良により行動不能となる山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動し、女性を救助しました。						
7月10日	ハケ岳連峰 蓼科山	48	女	転倒	負傷	3人パーティで蓼科山からスズラン峠に向けて下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
10日、3人パーティで蓼科山に入山し、山頂から下山中の女性(48歳)が、バランスを崩して足首を負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員及び諏訪広域消防特別救助隊員が出動し、女性を救助しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～7月10日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	101	17	2	47	47	113	66
内)単独登山	36	7	1	10	18	36	18
令和3年(2021年)	78	19	0	33	37	89	52
前年同期比	+23	-2	+2	+14	+10	+24	+14
内)単独登山	+3	-4	+1	+3	+3	+3	±0

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～7月10日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	6	5.9%	1	0	5	6
	後立山	15	14.9%	4	0	6	18
	その他	11	10.9%	2	1	2	12
	計	32	31.7%	7	1	13	36
中央アルプス	9	8.9%	2	0	3	4	9
南アルプス	1	1.0%	0	0	0	1	1
ハケ岳連峰	22	21.8%	3	0	16	6	25
その他の山岳	37	36.6%	5	1	15	21	42
計	101		17	2	47	47	113

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～7月10日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	38	37.6%	11	0	29	0	40
転倒	12	11.9%	0	0	12	0	12
病気	5	5.0%	2	0	0	3	5
道迷い	22	21.8%	0	0	0	28	28
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	4	4.0%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	5.9%	1	0	0	7	8
不明・他	14	13.9%	1	2	4	9	16
計	101		17	2	47	47	113

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～7月10日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	2	0	2	17 22.1%	0	0	0	0	0	8 22.2%	2	25 22.1%
20代	1	0	1	7	9		0	0	1	3	4		13	
30代	0	0	1	5	6		1	0	2	1	4		10	
40代	2	0	8	6	16	29 37.7%	0	0	5	1	6	17 47.2%	22	46 40.7%
50代	2	0	6	5	13		2	0	5	4	11		24	
60代	3	0	8	8	19	31 40.3%	1	0	3	0	4	11 30.6%	23	42 37.2%
70以上	3	1	3	5	12		2	1	2	2	7		19	
計	11	1	29	36	77		6	1	18	11	36		113	
比率	68.1%						31.9%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。